



株式会社ネオテック

環境経営レポート



対象期間：2022年4月1日～2023年3月31日

発行日：2023年6月6日

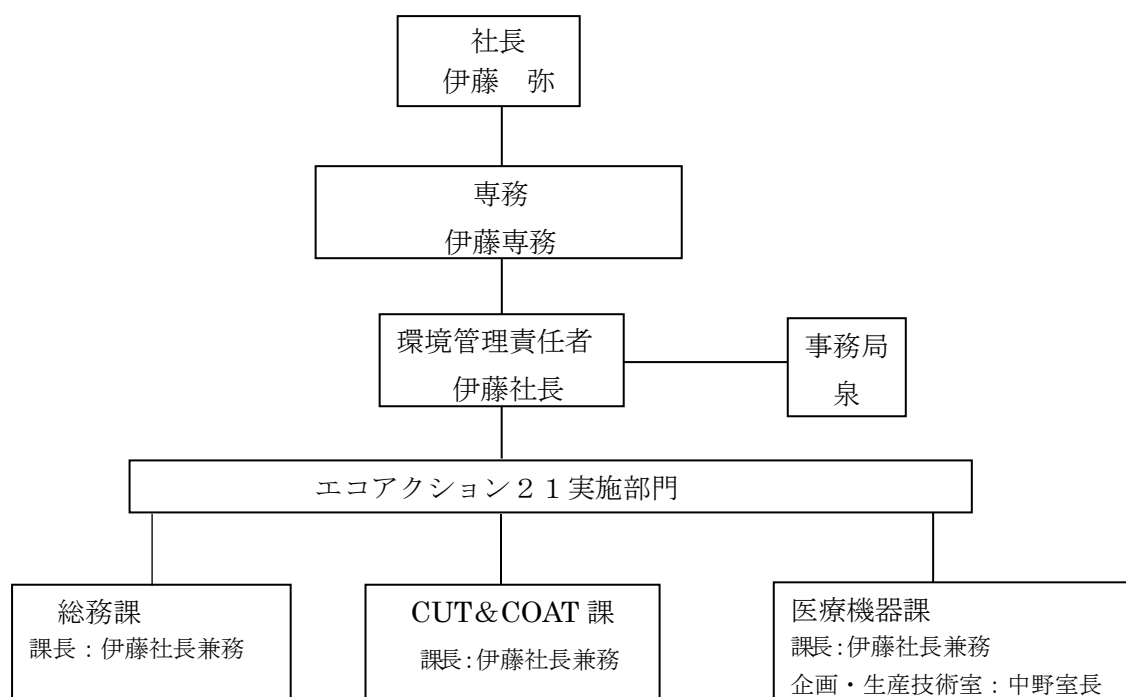
目次	ページ 1
1. 組織の概要	ページ 2
1－1 認証登録の事業所	
1－2 組織図	ページ 3
2. 対象範囲（認証・登録範囲）	ページ 4
3. 環境経営方針	ページ 4
4. 環境経営目標	ページ 5
5. 環境経営計画・実施方法	ページ 6, 7
6. 環境経営目標の実績	ページ 8
7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組課題	ページ 9
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	ページ 10
8－1 環境美化清掃、環境上の緊急事態に対する訓練等	ページ 11
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	ページ 12

1. 組織の概要

1-1 認証登録の事業所

事業所名		株式会社 ネオテック
所在地		神奈川県足柄上郡山北町平山 1 3 2 - 9
代表者		代表取締役 伊藤 弥
事業内容		自動車部品加工、特殊表面処理、医療機器製造
環境関係 受付窓口	環境管理責任者	C&C 課、医療機器課、総務課課長 伊藤 弥
	担当窓口	総務課
	T E L / F A X	0465-79-1501 / 0465-79-1502
	E - m a i l	info@neotec.ne.jp
事業規模	設立	2000 年 12 月 27 日
	資本金	990 万円
	延床面積	3,106m ²
	主要製品生産高・売上高	主要製品売上高：369 百万円
	C&C 課 CUT (ボルト等)	
	C&C 課 COAT (バスケット等塗装)	
	医療機器課 (ガイドワイヤー等)	
従業員		58 名 2023 年 3 月 31 日現在

1-2 エコアクション21実施体制及び組織



	役割・責任・権限
社 長	1. 環境管理責任者の任命 2. 環境経営方針の制定 3. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 4. 環境経営システムの定期的見直しの実施 5. 社内情報の外部公開可否決定
環境管理責任者	1. 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2. 社長への環境経営システムの実施状況報告 3. 推進機関であるE A 2 1 EMSの事務局の責任者として事務局運営 4. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する 5. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 6. 環境経営関連文書類の作成・整理
事務局	1. 環境管理責任者の補佐 2. 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 3. 環境経営の実績集計、環境経営関連法規等取りまとめ表の作成 4. 環境経営関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 5. 環境経営関連の外部コミュニケーションの窓口、環境経営レポートの作成
部門責任者	1. 自部門における環境経営システムの実施、環境経営方針の周知、従業員に対する教育訓練の実施、自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 2. 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 3. 特定された項目の手順書作成及び運用管理 4. 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練を実施、記録の作成 5. 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	1. 環境経営方針を理解し、部門の環境経営活動に従って活動する。

2. 対象範囲（認証・登録範囲）

取組の対象組織・活動：株式会社 ネオテックの全組織・全活動・全従業員

所在地：神奈川県足柄上郡山北町平山 1 3 2－9

3. 環境経営方針

添付 1

株式会社ネオテック環境経営方針

<環境理念>

当社は環境の維持、改善に努め、地域社会と地球環境の保全に貢献します。

<環境経営方針>

- 1.当社は環境負荷の低減や環境改善を図るため、次の事項に重点的に取り組みます。
 - (1) 地球温暖化防止のため二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 - (2) 廃棄物の削減及び適正処理、リサイクルの推進に努めます。
 - (3) 節水に努めます。
 - (4) 技術的に削減可能な化学物質使用量の削減に努めます。
 - (5) グリーン購入に努めます。
 - (6) 製品の製造に当たりコストの削減につながる仕様変更の提案を行います。
- 2.環境改善活動状況を確認し、改善及び是正を行い、環境経営マネジメントシステムの維持、継続的改善に努めます。
- 3.環境に関する法規、規制及び当社が同意したその他の要求事項を遵守します。
- 4.環境目的・目標を設定し、必要に応じて見直しを行います。
- 5.環境経営方針は、文書化し、かつ従業員に周知するとともに、社外に公開します。

制定：2020 年 4 月 1 日

株式会社ネオテック

代表取締役 伊藤 弥

4. 環境経営目標

環境経営目標

添付 2

環境経営目標	基準(実績)		中期目標				
	2019年度		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1. 二酸化炭素排出量の削減	527,725 kg-CO ₂		基準年度比 0.5 %削減 525,086 kg-CO ₂	基準年度比 1.0 %削減 522,448 kg-CO ₂	基準年度比 1.5 %削減 519,809 kg-CO ₂	基準年度比 2.0 %削減 517,171 kg-CO ₂	基準年度比 2.5 %削減 514,532 kg-CO ₂
1.1電力使用量の削減 ⁽¹⁾	1,132,558 kWh 500,591 kg-CO ₂		基準年度比 0.5 %削減 1,126,895 kWh 498,088 kg-CO ₂	基準年度比 1.0 %削減 1,121,232 kWh 495,585 kg-CO ₂	基準年度比 1.5 %削減 1,115,570 kWh 493,082 kg-CO ₂	基準年度比 2.0 %削減 1,109,907 kWh 490,579 kg-CO ₂	基準年度比 2.5 %削減 1,104,244 kWh 488,076 kg-CO ₂
1.2自動車燃料使用量の削減	11,013 L 27,134 kg-CO ₂		基準年度比 1.0 %削減 10,903 L 26,863 kg-CO ₂	基準年度比 2.0 %削減 10,793 L 26,591 kg-CO ₂	基準年度比 2.5 %削減 10,738 L 26,191 kg-CO ₂	基準年度比 3.0 %削減 10,683 L 26,057 kg-CO ₂	基準年度比 3.5 %削減 10,628 L 25,661 kg-CO ₂
2. 廃棄物排出量の削減 ⁽²⁾	一般廃棄物	3,189 kg	基準年度比 1.0 %削減 3,157 kg	基準年度比 1.5 %削減 3,141 kg	基準年度比 2.0 %削減 3,125 kg	基準年度比 2.5 %削減 3,109 kg	基準年度比 2.5 %削減 3,109 kg
	産業廃棄物	23,208 kg (15,768) kg	基準年度比 1.0 %削減 22,976 kg (15,610) kg	基準年度比 1.5 %削減 15,531 kg	基準年度比 2.0 %削減 15,453 kg	基準年度比 2.5 %削減 15,374 kg	基準年度比 3.0 %削減 15,295 kg
3. 水資源投入量の削減	565 m ³		基準年度比 0.5 %削減 562 m ³	基準年度比 1.5 %削減 557 m ³	基準年度比 2.0 %削減 554 m ³	基準年度比 2.5 %削減 551 m ³	基準年度比 3.0 %削減 548 m ³
4. 化学物質使用量の削減	4,224 kg		基準年度比 0.5 %削減 4,203 kg	基準年度比 1.0 %削減 4,182 kg	基準年度比 1.5 %削減 4,161 kg	基準年度比 2.0 %削減 4,140 kg	基準年度比 2.5 %削減 4,118 kg
5.グリーン購入	25品目		28品目以上	29品目以上	30品目以上	30品目以上	30品目以上
6. 自らが提供する製品及びサービスに関する環境配慮	1件		同左 3件以上	同左 4件以上	同左 5件以上	同左 6件以上	同左 7件以上
7.品質目標 不良低減	C&C課 9件 医療機器課 0件 納期遅延 0件	C&C課 5件 医療機器課 0件 納期遅延 0件 社内改善提案 140万円 C&C課 60万円 医療機器課 69万円 総務課 11万円	C&C課 0件 医療機器課 0件 納期遅延 0件 社内改善提案 60件	毎年度設定	同左	同左	

注(1) 購入電力のCO₂排出係数:0.442を適用。 R3.1.7経産省・環境省公表

注(2) 産業廃棄物は、m³での契約の為弊社のにおける産業廃棄物係数0.35/m³を適用。
(排出実績を考慮し従来の係数0.5825/m³からの見直しを実施。 2023.4.1)
産業廃棄物の2019年・2022年の実績については()内に新係数で算出した数値を表示

5. 環境経営計画・実施方法

2022年度環境経営計画・実施方法

添付3

基準年度:2019年度

NO.	中期目標(2023年度)	年度目標(2022年度)	施 策	責任者	具体的方法
1	二酸化炭素排出量の削減 基準年度比1.0%削減 522,448kg-CO ₂	525,086kg-CO ₂	1. 節電の徹底 2. エコドライブの徹底	総務課長 CUT&COAT課長 医療機器課課長	1. 節電の徹底 (1)各課毎に自部署が主として使用する部屋の節電を図る。 (共通部分は総務課が担当) (2)不使用時、不在時の照明等の消灯を徹底する。 2. エコドライブの徹底 (1)運転者にエコドライブの徹底を図る為、安全運転及びエコドライブの資料を毎月回覧する。 (2)配送・送迎を計画的に実施し、無用な運行を削減する。
1.1	電力使用量の削減 基準年度比1.0%削減 1,121,232kWh 495,585kg-CO ₂	1,126,895kWh 498,088kg-CO ₂	1. 節電の徹底	総務課長 CUT & COAT課長 医療機器課長	(1)不在時、不使用時の消灯の徹底、休憩・残業時の事務所照明50%OFFを実施する。 (2)長時間の離席及び退社の際はパソコンモニターの電源OFFを実施する。 (3)空調設備の定期的な清掃の実施と作業終了15～30分前の電源OFFを心掛ける。 (4)従業員からの改善提案を積極的に募り作業効率改善から電力使用量削減へ繋げる。 (5)消し忘れ等がないよう最終退社者が確実に確認を実施する。
1.2	自動車燃料使用量の削減 基準年度比2%削減 10,793L 26,591kg-CO ₂	10,903L 26,863kg-CO ₂	1. エコドライブの徹底	総務課長 CUT & COAT課長 医療機器課長	(1)全従業員にエコドライブ、安全運転の資料を回覧しその重要性について再認識してもらう。 (2)配送、送迎を計画的に実施し、無用な運行を削減する。 (3)アイドリングストップを励行する。 (4)社有車に「エコドライブ:急発進、急加速禁止」のステッカーを貼付ける。 (5)ドライブレコーダーを設置し安全運転、エコドライブの両立を図る。
2	廃棄物排出量の削減 一般廃棄物 基準年度比1.5%削減 3,141kg	3,157kg	1. 分別の徹底	総務課長 CUT & COAT課長 医療機器課長	(1)産廃置場に写真表示をして資源物、廃棄物分別の徹底を図る。 (2)リサイクル可能な雑誌、カタログ、段ボール等を有価物とする。 (3)物を受け取る際は、必要・不必要をよく吟味の上必要ない物は極力受け取らない。
	産業廃棄物 基準年度比1.5%削減 15,531kg	22,976kg (15,610kg)	1. ロスを出さない生産活動 2. リサイクルの実施	総務課長 CUT & COAT課長 医療機器課長	(1)各工程でのロス率削減に取り組む。(ミーティングにおける注意喚起を実施する。) (2)廃棄する際に可能な限り圧縮、減量して廃棄する。 (3)化学物質を適正に管理・使用する。 (4)リサイクル可能な金属クズ等を有価物とする。 (5)従業員からの改善提案を積極的に募り、情報を周知・共有し廃塗料等の削減を図る。 (6)循環設備を効率よく稼働し化学物質使用量(購入量)・廃液の削減に繋げる。

3	水使用量の削減 基準年度比1.5%削減 557m ³	562m ³	1. 節水意識の向上	総務課長 CUT&COAT課長 医療機器課長	(1)水量計の定期的な確認を行い、使用量に異常がないか確認する。(衛生巡視時確認) (2)小便器の使用前自動洗浄を止める。 (3)トイレに擬音装置を設置し水洗回数を減らす。 (4)室外機への散水を中止する。(空調設定温度見直しにより電力負荷が低減した為) (5)ボットの残り湯は清掃、噴霧器に使用し無駄のない利用を心掛ける。 (6)蛇口に「節水励行」のステッカーを貼付する
4	化学物質使用量の削減 基準年度比1%削減 4,182kg	4,203kg	1. ロスを出さない生産活動	CUT&COAT課長	(1)各工程でのロス率削減に取り組む。(ミーティングにおける注意喚起を実施する。) (2)化学物質を適正に管理・使用する。 (3)従業員からの改善提案を積極的に募り、情報を周知・共有し使用量を削減する。 (4)循環設備を効率よく稼働し、化学物質使用量(購入量)・廃液の削減に繋げる。
5	グリーン購入 29品目以上	28品目以上	1.グリーン購入を継続・推進する。	総務課長	(1)事務用品発注者に朝礼を活用し毎月1、15日にグリーン購入について教育を実施する。 (2)事務用品を中心にエコ品の購入を図る。 (3)日常における事務用品発注時に、エコ品への切り替えが可能か調査・検討する機会をつくる。
6	自らが提供する製品及びサービスに関する環境配慮 4件以上	環境設計の実施 客先にコスト削減の為の提案を行う。3件以上	1. 客先にコスト削減の為の提案を行う。 1件以上(採用の有無は問わない。)	CUT&COAT課長 医療機器課長	(1)提案の状況を毎月の部門M/Tでの確認事項とし取組の強化を図る。
7	品質目標 CUT&COAT 0件 医療 0件 納期遅延 0件 改善提案 60件	CUT&COAT 5件 医療 0件 納期遅延 0件 社内改善提案 140万円 C&C課 60万円 医療機器課 69万円 総務課 11万円	1.不良低減	CUT&COAT課長 医療機器課長 総務課長	再発防止活動(切粉流出阻止、異品混入防止活動)を確実に実施する。 年間社員4万円/人 パート従業員 1万円/人 提出された提案については通用口へ提示し周知・共有を図る。 今期も金額ベースとし各部署年間 社員4万円/人 パート1万円/人 を基に目標金額を設定し部署及び社内にて提案を共有し全社的な業務効率改善へと繋げる。
NO.	評価・確認 月日	評価・確認者	評価・確認事項	評価・確認結果、コメント、是正処置等	
1 1.1 1.2 2 3 4 5 6 7	2023.5.9	伊藤社長 泉	二酸化炭素排出量 電力使用量 自動車燃料使用量 一般廃棄物 産業廃棄物 水資源投入量の削減 化学物質使用量削減 グリーン購入 客先へコスト削減の為の提案 品質目標	下記1.1、1.2に同じ 不在時、不使用時の消灯について徹底出来ている。またCUTの空調機の入替を実施する事が出来た。 毎月エコドライブの資料を回覧し、その意識は継続出来ている。受注状況に応じた配送回数の見直しも客先へ提案し実施する事が出来た。 リサイクル可能なものはリサイクルを実施し、分別廃棄する事が出来た。 循環器の稼働は廃塗料の削減に寄与している。 ボットの残り湯は清掃、噴霧器に使用する等無駄のない利用が継続出来ている。 受注量の影響もあるが、循環器の稼働の影響も使用量削減に寄与している。 各種資材高騰の影響は大きく価格とのバランスを考慮した結果未達となってしまった。 今期は社内の提案に対する意識を大きく変える提案がなされ目標達成となった。今後もこの意識を継続して提案活動を行っていく。 ルールの周知と厳守からクレーム低減へ繋げる必要がある。慢性的な社内不良製品は検査方法の確立、徹底を行っていく。 改善提案は金額制とした事により提出へのハードルが高くなった為件数制へと戻す。	

6. 環境経営目標の実績

環境経営目標の実績

添付4

環境経営目標	年度実績			年度目標	運用実績	
	2019年度 (基準年)	2020年度	2021年度	2022年度	2022年度	
					実績	達成度(基準年度比)
1. 二酸化炭素排出量の削減	527,725 kg-CO ₂	504,257 kg-CO ₂	491,269 kg-CO ₂	基準年度比0.5%削減 525,086 kg-CO ₂	462,275 kg-CO ₂	達成12%削減
1.1 電力使用量の削減 ⁽¹⁾	1,132,558 kwh	1,091,065 kwh	1,061,307 kwh	基準年度比0.5%削減 1,126,895 kwh	998,017 kwh	達成11.4%削減
	500,591 kg-CO ₂	482,251 kg-CO ₂	469,098 kg-CO ₂	498,088 kg-CO ₂	441,123 kg-CO ₂	
1.2 自動車燃料使用量の削減	11,013 0	8,884 0	8,918 0	基準年度比1.0%削減 10,903 0	8,537 0	達成21.7%削減
	27,134 kg-CO ₂	22,006 kg-CO ₂	22,171 kg-CO ₂	26,863 kg-CO ₂	21,152 kg-CO ₂	
2. 廃棄物排出量の削減 ⁽²⁾	一般廃棄物 3,189 kg	2,858 kg	3,310 kg	基準年度比1.0%削減 3,157 kg	2,430 kg	達成23%削減
	産業廃棄物 23,208 kg	20,881 kg	20,780 kg	基準年度比1.0%削減 22,976 kg	22,463 kg	達成2.2%削減
3. 水資源投入量の削減	全使用量 565 m ³	519 m ³	504 m ³	基準年度比0.5%削減 562 m ³	516 m ³	達成6.5%削減
4. 化学物質使用量の削減	全使用量 4,224 kg	4,795 kg	4,212 kg	基準年度比0.5%削減 4,203 kg	3,040 kg	達成27.6%削減
5. グリーン購入	25品目	27品目	30品目	28品目	27品目	未達
6. 自らが提供する製品及びサービスに関する環境配慮	環境配慮設計実施 1件	環境配慮設計実施 客先にコスト削減の為の提案を行う2件	環境配慮設計実施 客先にコスト削減の為の提案を行う2件	環境配慮設計実施 客先にコスト削減の為の提案を行う3件	環境配慮設計実施 客先にコスト削減の為の提案を行う4件	達成
7. 品質目標	不良低減 CUT 8件 COAT 1件 医療 0件 納期遅延 0件	不良低減 C&C 12件 医療 0件 納期遅延 0件 改善提案(件数) 52件	不良低減 C&C 9件 医療 2件 納期遅延 0件 改善提案(金額) 83.3万円	不良低減 C&C 5件以下 医療 0件 納期遅延 0件 改善提案(金額) 140万円	不良低減 C&C 12件 医療 0件 納期遅延 0件 改善提案(金額) 31.8万円	未達

注(1)購入電力のCO₂排出係数:0.442を適用。注(2)産業廃棄物は、m³での契約の為弊社のにおける産業廃棄物係数0.5825/m³を適用。2023.4.1からは産業廃棄物係数を0.35/m³へ変更

7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組む課題

2022年度環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組課題

添付5

基準年度：2019年度

N O .	中期目標 (2 0 2 3 年度)	年度目標	運用実績	実施状況	次年度の取組み
		2022年度	2022年度		
1	二酸化炭素排出量の削減 基準年度比1.0%削減 522,448 k g -CO ₂	525,086 kg-CO ₂	462,275 kg-CO ₂	下記1.1、1.2の通り	下記1.1、1.2の通り
1.1	電力使用量の削減 基準年度比1.0%削減 1,121,232kWh 495,585kg-CO ₂	1,126,895 kWh 498,088 kg-CO ₂	998,017 kWh 441,123 kg-CO ₂	不在時不使用時の消灯は継続出来ている。特に休暇前の消し忘れ等については朝礼時の今日の一言で数多く唱和され意識高揚に繋がっている。	社内提案制度の活発化による業務効率改善と不在・不使用時の消灯徹底等の基本的な取組みを実施していく。
1.2	自動車燃料使用量の削減 基準年度比1%削減 10,793 L 26,591kg-CO ₂	10,903 L 26,863 kg-CO ₂	8,537 L 21,152 kg-CO ₂	エコドライブ・安全運転の資料回覧により意識を継続出来ている。	エコドライブの資料配布と全体会の周知等従来の取組みを継続していく。
2	廃棄物排出量の削減 基準年度比1%削減 一般廃棄物 3,141kg 産業廃棄物 15,531kg	一般廃棄物 3,157 kg 産業廃棄物 22,976 kg	一般廃棄物 2,430 kg 産業廃棄物 22,463 kg	分別廃棄、リサイクルを意識した分別を継続出来ている。	有価となる物、リサイクルできる物を確実に分別していく。
3	水使用量の削減 基準年度比0.5%削減 557m ³	562 m ³	516 m ³	ボットの残り湯を清掃等に使用する等無駄のない利用が継続出来ている。	引き続き無駄のない利用を実施する。
4	化学物質使用量の削減 基準年度比0.5%削減 4,182kg	4,203 kg	3,040 kg	受注量の影響もあるが循環器導入の効果は続いており確実に使用量は削減出来ている。	引き続き循環設備の利用と手直し削減、2Sを確実に進め適正な管理使用を継続する。
5	グリーン購入 29品目以上購入	28品目以上購入	27品目	特に年度後半において資材高騰の影響もあり価格とのバランスを考慮した結果未達となってしまった。	切替可能なエコ品の調査を継続して実施し、価格とのバランスがとれるものは随時切替を実施する。
6	環境配慮設計 客先にコスト削減の為の提案を行う。 4件以上	客先にコスト削減の為の提案を行う。 3件	4件	今期客先になされた提案が、社内の提案へのハードルを下げる要因となり結果4件のコスト削減の提案を行うことが出来た。	2022年度に提案に対する意識が変わりその意識のもと細部にも意識を向け、部署内の情報共有についても密に行い漏れのない提案活動を実施する。
7	品質目標 不良低減 C&C課 0件 医療機器課 0件 納期遅延 0件 社内改善提案 60件以上	不良低減 C&C課 5件以下 医療機器課 0件 納期遅延 0件 社内改善提案 140万円 C&C課 60万円 医療機器課 69万円 総務課 11万円	不良低減 C&C課 12件 医療機器課 0件 納期遅延 0件 社内改善提案 31.8万円 C&C課 26.6万円 医療機器課 0.6万円 総務課 4.5万円	品質改善活動計画に基づき実施	ルールの周知と厳守を行い、クレーム低減へ繋げる。慢性的な社内不良製品は検査方法の確立、徹底を行う。改善提案については金額制とした事により提出へのハードルが高くなってしまった事もあり2023年度については件数制へと戻す。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

8-1

(1)関係する環境関連法規等取りまとめ表に基づいて確認した結果は下記のとおり。

遵守状況：○違反なし、×要改善

環境関連法規等	遵守状況
1. 廃棄物の処理及び清掃に関する法律	○
2. 神奈川県環境基本条例	○
3. 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律	○
4. フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	○
5. 毒物及び劇物取締法	○
6. 消防法・危険物関係	○
7. 神奈川県生活環境の保全等に関する条例	○
8. 小田原市火災予防条例	○

(2)違反、訴訟の有無

当社は環境に関連して適用する法規、条例等を遵守しており、環境についての行政からの指摘、近隣による訴訟はありません。また当事業所は過去3年間、行政、近隣からの環境関連法規等に関する違反、指摘、訴訟はありません。

(3)環境美化清掃活動

当社では環境整備及び近隣との良好な関係を継続するために定期的に工場外周の清掃を安全衛生委員によって行っています。



2022 年度工場外周清掃実施日

2022 年 4 月 26 日 (火)

2022 年 7 月 28 日 (木)

2022 年 10 月 26 日 (水)

2023 年 1 月 24 日 (火)

(4)避難訓練及び環境緊急事態想定訓練の実施

避難訓練と併せて、借用した水消火器を使用した初期消火訓練と危険物流出防止訓練を実施した。

実施日 2022 年 11 月 11 日 (金) 14 : 45～



9. 代表者による全体評価と見直しの結果（見直し実施日：2023年5月31日）

(1) 全体評価

電力使用量 達成	2022年度も新型コロナウイルスの影響が続き目標達成となった。 電気代が大きく高騰した事も節電意識を高めることとなり目標達成へと繋がった。
燃料使用量 達成	エコドライブの意識は継続出来ている。また受注状況を考慮して配送回数の見直し についても客先へ提案し採用された事も影響したと思われる。
二酸化炭素排出量 達成	電力使用量の影響が大きく、また夏に老朽化した空調設備の入替も実施した 事も電力削減へと繋がった。
廃棄物排出量	分別・リサイクルについて確実に実施出来ている事もあり目標達成となった。 この意識、取組みを継続していく。
一般廃棄物 達成	
産業廃棄物 達成	コロナ禍の受注量の影響は大きい。廃液については循環設備の稼働により化学物質 使用量についても効果が出ている。
水使用量 達成	節水意識も継続出来ているが、無駄のない利用が実施出来ている。
化学物質使用量 達成	コロナ禍継続による受注の影響は大きい。循環設備の継続稼働の影響も大きく 目標達成となった。
グリーン購入 未達成	各種資材高騰の影響が大きく、価格とのバランスを考慮した結果未達となってしまった。 ただしグリーン購入の意識は継続しており、今後もこの活動を継続する。
コスト削減提案 達成	今期客先へ提案された内容が社内の提案へのハードルを下げる大きなきっかけとなり 目標達成となった。今後もこの意識で提案活動を行っていく。
品質目標 不良低減 未達 改善提案 未達	ルールの周知と厳守を行い、クレーム低減へ繋げる必要がある。慢性的な社内不良 製品は検査方法の確立、徹底を行う。 改善提案については金額制とした事により、提出へのハードルが高くなった為2023年度 については件数制へと戻す。
全体を通して	コロナ禍が継続していた事もあり多くの項目で目標達成となった。本業においては新型 コロナの影響が続いた事と諸外国の不確実な情勢から各種資材等の価格高騰等があり 厳しい結果となった。 社内の提案制度の活性化による業務効率化の推進とクレーム低減に取り組んでいく 必要がある。

(2) 見直しの結果

評価結果に基づく変更の要否の判断は、次の通りとした。

①環境経営方針：変更しない。

②環境経営目標：変更する。

当社の場合、毎年受注量、受注内容の変動が大きいため、それらの影響を受ける環境経営目標の各項目
が毎年大きく変動する。また、新型コロナウイルスの影響を長く受けている事もあり長期間を予測した
目標を定めるのは困難である。

グリーン購入・客先へのコスト削減提案については、中期目標通りに進める。

それ以外の項目は2022年度がコロナ禍だったこともあり2019年度を基準として目標値を定める。

③環境経営計画：変更する。

上記②の変更に従って、2023年度の環境経営計画を変更する。

④環境経営システム：変更しない。

以上